

目標達成計画

作成日:平成22年1月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と日々の取り組みについて	運営理念「ゆっくり、のんびりみどりが丘」を掲げ、心身共に安定した日常生活を過ごして頂ける支援を行う。	・運営理念を大きくかいて、誰もが目につきやすい位置に掲示する。環境面～季節ごとの雰囲気作り、接遇面～笑顔・挨拶、言葉遣い・声かけの位置、大きさ、口調に注意し、否定しない対応。お一人、お一人の個性を大切にす。	10ヶ月
2	34	急変や事故発生時の備え	事故(転倒・転落・誤嚥・トラブル・火災等)による入院の回避、その後の身体状況の低下を防止、ご家族様・利用者様の負担を軽減する。事故予防のマニュアル作成に取り組む。	職員間の情報共有～職員会議・気づき・申し送り・連絡帳・介護記録、これまでの事故ヒヤリハット報告書の活用。利用者様の変化を察知し、それに伴う対応を職員全員ができるようにする。ホーム内でどのような時に、事故が発生するかを職員間で検討する。事故後の再事故防止策を検討する。	10ヶ月
			利用者の急変や事故発生時に備え、全部の職員が対応できる。	マニュアルの把握。又、急変を想定し、各職員がシミュレーションをしておく。夜間・昼間・状況に応じた急変時の対応を担当を決めて定期的に訓練を行う。ご家族様には、日頃より生活の様子報告を行う。緊急時に必要な基本情報のシートを個別に準備しておく。	10ヶ月
5	5	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組む。	ご家族様との連携を図りながら、利用者様の身体レベルに合った施設選び・相談を行う。又、法人にも相談し、安心して住み慣れた地域で生活できるようサービス提供を行う。	10ヶ月
5	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成していく。	モニタリングで本人のできることを細かく観察する。月一度のカンファレンスで職員間の情報交換を行い、検討しケアプランに繋げる。統一したケアを行う	10ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。